

新文明の構築について

—神・自然・人間の大調和実現のために—

旧文明から新しい文明へ —何故新しい文明なのか—

論文のキーポイント

○ 旧文明の問題点

1. 人間至上主義・経済至上主義

産業革命以降、人類のみの繁栄を求める、人間至上主義、経済至上主義が、大量生産、大量消費、大量廃棄を生み出し、世界の貧困と戦争と自然破壊を生み出してきた。

①. 世界の貧富の格差

先進国とそうでない国との貧富の差が激しく、70億人中、2割の先進国の人々が潤沢にありあまる生活が出来て、10億の人々が飢餓で苦しんでいる。

②. 地下資源を巡る人類の奪い合い(戦争の歴史)

・ 化石燃料による地球温暖化の問題 (CO2 排出による)

異常気象による、作物の不作に貧しい国々が更に飢餓に苦しんでいる。

③. 生物の多様性の破壊

人間に都合の良い動植物のみを成育し、それ以外の都合の悪い動植物を排除した結果、世界では種の絶滅が異常なスピードで進み自然体系が壊されつつある。

2. 自然無限論の限界 『機関誌』2015/7月号 P21

【問題になっているのは、まさにこの“自然無限論、なのだ。世界人口が増大しつづける中、人口の多い新興国が先進国並みの物質消費生活を目指して経済発展を続けているため、エネルギー需要が激増し、自然が破壊され、大気中の温暖化ガスが増大し、気象変動が起こり、資源獲得競争が激化し、食糧価格が高騰する……という悪循環を断つことができないでいる。人類はもはや“自然無限論、を捨て、“地球有限論、のもとで生きる決意をしなければならない。】

①. 化石燃料（地下資源）の限界

②. 地下資源の奪い合い

○ 旧文明の根本的問題点

『機関誌』2015/7月号 P34

【私たちが自分の利益ばかりを考え、それに固執していると、地球上の他の生物を犠牲にしても、自分は幸福になるという錯覚に陥るのであります。他の生物種を犠牲にしても、人類は繁栄することができる。これが現代文明の——言い直すと“旧文明、の大きな問題だと私は思うのであります。人間が自由に、自然界のすべてのものを最大限に利用することで、天国のような理

想的状態が実現する。—— とんでもない間違いだと私は思います。】

旧文明の問題点は、何れも、人間至上主義・経済至上主義の、非対称性重視の価値観から生じている。このような価値観から、生じる文明は、結局のところ、奪い、奪われる価値観から脱することは出来ない。

私たちが目指すのは、神・自然・人間の一体感（四無量心）に基づいた、地球上の生物も鉱物もすべてを含めて、神の子・仏の子と尊敬しあう価値観に基づいた文明の構築である。

“新しい文明”構築のために

○ 新しい文明とは

- ・人間の幸福と自然界の発展とが両立する生き方
- ・そんな生き方を支え、拡大する信仰、哲学、科学技術、政治、経済の全体

1. 神・自然・人間の一体感（四無量心）

『次世代への決断』P243～257【自然界に四無量心を表現する】

環境方針の 基本認識に示された、「天地の万物に感謝せよ」の宗教心に基づく生活の実践こそが新しい文明の基礎と言えます。

2. 再生可能エネルギーの利用（地下資源文明から地上資源文明へ）

3. 日時計主義の実践

①. 日時計主義の生活が、人類の未来を築く 『次世代への決断』 P178～179

【そういうわけで、この日時計主義の生き方を私たちはさらに進めていくとともに、その背後にある「人間・神の子」の考え方をしっかりと人々に伝えてください。この日時計主義の生き方をしていれば、「物がほしい」とか「遠くへ行きたい」とか「まだ足りない」とか「不安である」などという一種の精神的飢餓感から開放されます。今の日本には物があふれているのに、そういう “心の貧困” があります。物が多いことで、かえって精神が飢えている——そういう物質主義的な生き方から抜け出す道が生まれてくるのです。価値観の転換が行われて、外から何かを付け加えることで幸福を感じるのではなく、内部の神性を開発することに喜びを見出す。他から奪うことではなく、他に与えることで充足する——そういう新しい人間の生き方が広がっていく。また、そうでなければ人類が “自然と共に伸びる” ことは不可能であり、人類の未来はないと思うのですね。】

②. 新しい文明を築くために

- ・ 三正行の実践
- ・ 二酸化炭素の排出を減らす生活
(省エネ、太陽光、電気自動車、自転車等)
- ・ 地産地消・旬産旬消
- ・ 肉食を減らす

- ・ 農薬・化学肥料を使わない家庭菜園・農業
- ・ 手作りを楽しむ（食事、保存食も含めて）
- ・ 自分の家庭だけでなく、広く地域や世界の人のためになる愛の行い

これらすべては、人や自然に与える生活であり、大いなるムスビの働きです。

（機関誌「生長の家」2018年6月号45頁）

③. PBS（プロジェクト型組織）の活動の意味

- ・ 一番大切なのは「生命の本然は働くことである」ということ

現在社会は「自動化・省力化・効率化」の流れ

↓

人間がロボット化

↓

エネルギーの消費、資源の浪費

↓

地球温暖化、気候変動

（機関誌「生長の家」2018年6月号19頁～20頁）

- 効率優先の生き方から、自然を愛する生き方へ 『次世代への決断』 P344～346
 — “めんどくさい”が地球を救う—

生長の家総裁・谷口雅宣先生がノコギリで薪をつくられたときのお話

【自分は今、このクリという植物が何年もかけて大気中から収集した炭素の固まりを切っている。燃やして暖をとるためだ。これと同じことを大規模にやれば、森林破壊となり、温暖化が深刻化する。しかし暖をとらねば、人間が0℃の夜を無事に過ごすことは困難だ。だから、せめて森の“余剰分”と思われる倒木だけを利用させてもらう。量的には、それで十分だ。それに、手引きのノコギリを使えば、1回にちょうどそれぐらいの量しか薪は作れない。チェーンソーがあつたら、どうだったろうか？作業効率はグンと上がるから、必要以上に薪をつくってしまうか、あるいは作業を短時間で済ませて家にもどれる。楽な作業かもしれないが、そんな時、このクリの木の一生のことを考えるだろうか？節を避けて木を切るために、木の表面をよく観察するだろうか？クリの木肌に注意したり、香りをじっくり味わうだろうか？（略）そんなことを考えてみると、不便さや苦労の中には、効率とは別の価値がしっかり詰まっているのだと思った。】

- “プロジェクト”すなわち“投げかけ”“具体化する”
 行動に焦点を合わせて運動を推進する必要がある。

「信仰」という内側のエネルギーを実際生活などの外側に「行動」として表現

しなければなりません。

SNI 自転車部・・・自転車でいける距離ならば車で行くよりも自転車に乗りましょう

SNI クラブ倶楽部・・・自然界の素材との直接の接触があり、「手を使う」という人間的な創造の幸福感が生まれます。

SNI オーガニック菜園部・・・作物を育てることの難しさと喜びを自分で体験してみる。
有機農法で育った野菜や果物とスーパーマーケットで買った
”規格品“との味比べをしてみる。

自らが行動によって自然と一体の喜びを生活に表現し、人々に分かち与えていく。

自然と人間とを“別物”と見ない価値観とライフスタイルへの転換を多くの人々に伝え
仲間とともに喜びながら実践する運動

(機関誌「生長の家」2018年6月号21頁～22頁)

先祖供養の意義について (設問)

次の文章が正しければ○、誤っていれば×をつけてください。

またその理由を簡単に記載ください。

- ① 人間は神の子であるから、それ自身で完成している、外から何も付け加えなくともよいから、先祖供養は本来は不要である。これを第二義的意義という。

(○×理由：)

- ② 宗教の真髄は、ひとつであるから先祖の宗派が仏教であろうと、神道であろうとキリスト教であろうと、儀式は関係なしに先祖供養すればよい。

(○×理由：)

- ③ 聖經読誦するときの心得はただ尊敬と感謝の念をもって行う。意味を説明し、読誦する時間は何時でも良い。

(○×理由：)

- ④ 『甘露の法雨』は意味がわからなくとも功德はある。なぜなら『甘露の法雨』作者は大聖師谷口雅春先生であるから、その語句の配列は神様からきたところのリズムをもっているからである。

(○×理由：)

- ⑤ 自然流産は、その宿っている靈魂が、子宮内における体験を意識的に経験してそれを卒業してもう再びその体験を継続する必要のない場合に、その靈魂が母体から去るのであるから不自然なことはない。しかし供養は必要である。

(○×理由：)

⑥ 非業の最後を遂げた靈魂も 50 年を過ぎたら靈魂の浄化が行われて「〇〇家」にいられて供養する。

(○×理由：)

⑦ 守護神と守護靈は、常に混同して使われるが守護神が上の位であり、守護靈が下の位というように分けた方がよい。

(○×理由：)

⑧ 生長の家の行事は、神道的儀礼を行うことを定めている。なぜなら、仏式で行えば、キリスト教の人が反発し、キリスト教式で行えば、仏教の人が反発する。神道式であればどちらも反感なしに集まる。従って外国でも神道式を勧めている。

(○×理由：)

⑨ 祭祀には幽齋と顕齋があり、幽齋とは形の上のお宮とか各宗で定められた一定の形にあらわれた方式で祈ることである（例えば宇治別格本山「入龍宮幽齋殿」のように）。顕齋とは心でもって心に相對するもので、精神統一をして実相を念ずることである。

(○×理由：)

⑩ 人工流産によって生まれた子供は高級靈であるから、劣等感をもたなくとも良く少子化の時代であるから勧めても問題はない。

(○×理由：)

先祖供養の意義について (回答)

次の文章が正しければ○、誤っていれば×をつけてください。

またその理由を簡単に記載ください。

- ✕ ① 人間は神の子であるから、それ自身で完成している、外から何も付け加えなくともよいから、先祖供養は本来は不要である。これを第二義的意義という。
(○×理由： 第一義的意義 「受験勉強会テキスト」 P33
『人生を支配する先祖供養』 P24)
- ✕ ② 宗教の真髄は、ひとつであるから先祖の宗派が仏教であろうと、神道であろうとキリスト教であろうと、儀式は関係なしに先祖供養すればよい。
(○×理由： 応病与薬的に先祖が続けてきた儀礼に則ることがよい
「受験勉強会テキスト」 P33 『人生を支配する先祖供養』 P24)
- ✕ ③ 聖經読誦するときの心得はただ尊敬と感謝の念をもって行う。意味を説明し、読誦する時間は何時でも良い。
(○×理由： 霊界には霊的訓練があって多忙であるから時間の約束がよい。
『人生を支配する先祖供養』 P34)
- ✕ ④ 『甘露の法雨』は意味がわからなくとも功德はある。なぜなら『甘露の法雨』作者は大聖師谷口雅春先生であるから、その語句の配列は神様からきたところのリズムをもっているからである。
(○×理由： 『甘露の法雨』の作者は観世音菩薩
「受験勉強会テキスト」 P34 『新講 甘露の法雨解釋 p15)
- ⑤ 自然流産は、その宿っている靈魂が、子宮内における体験を意識的に経験してそれを卒業してもう再びその体験を継続する必要のない場合に、その靈魂が母体から去るのであるから不自然なことはない。しかし供養は必要である。
(○×理由： 「受験勉強会テキスト」 P35、
『人生を支配する先祖供養』 P65、
『霊供養入門』 P315)

✕ ⑥ 非業の最後を遂げた霊魂も 50 年を過ぎたら霊魂の浄化が行われて「〇〇家」にいられて供養する。

(○×理由：深い恨みをもって死んだような人の霊魂は 50 年たってまだ浄化を完了していないのがある)

「受験勉強会テキスト」P35、
『人生を支配する先祖供養』p28)

✕ ⑦ 守護神と守護霊は、常に混同して使われるが守護神が上の位であり、守護霊が下の位というように分けた方がよい。

(○×理由：一般的にはどちらも守護神と言ってよい。

『人生を支配する先祖供養』P170)

✕ ⑧ 生長の家の行事は、神道的儀礼を行うことを定めている。なぜなら、仏式で行えば、キリスト教の人が反発し、キリスト教式で行えば、仏教の人が反発する。神道式であればどちらも反感なしに集まる。従って外国でも神道式を勧めている。

(○×理由：世界的視野からの祭祀などの表現形式であって、それぞれの文化的土壌と調和した“形”を採用 「受験勉強会テキスト」P22)

✕ ⑨ 祭祀には幽斎と顕斎があり、幽斎とは形の上のお宮とか各宗で定められた一定の形にあらわれた方式で祈ることである（例えば宇治別格本山「入龍宮幽斎殿」のように）。顕斎とは心をもって心に相對するもので、精神統一をして実相を念ずることである。

(○×理由：

顕斎：形の上のお宮とか各宗で定められた一定の形にあらわれた方式で祈ること。

幽斎：心をもって心に相對するもので、精神統一をして実相を念ずること。

「受験勉強会テキスト」P35 『人生を支配する先祖供養』P27～28)

✕ ⑩ 人工流産によって生まれた子供は高級霊であるから、劣等感をもたなくとも良く少子化の時代であるから勧めても問題はない。

(○×理由：

高級霊ではあるが、利己心や欲望を最大の動機として 21 世紀の科学技術が使われてはならない。

『人生を支配する先祖供養』P124

「受験勉強会テキスト」P55

誌友会のためのブックレットシリーズ2「生命倫理を考える」P5、16)

A large rectangular box with a solid black border, containing 20 horizontal dashed lines spaced evenly down the page. This is a standard format for handwriting practice, where the dashed lines serve as guides for letter height and placement.